

## 令和8年度 第4回活動報告

実施日 令和8年4月11日(土)

参加人数 27名

### 活動内容

昨日まで降り続けていた雨も止み、吹き荒れていた風も止んで、英彦山は陽春の気に満ちていました。前回の活動(3/28)から2週間、山は新緑の息吹に包まれていました。

9:00 別所駐車場には協力の方々が集まりました。初めての方も数名。直心庵で装備を調べて出発です。今日は急坂に汗がにじみます。南岳との鞍部に到着して、まずは昼食。日差しは暑いほどです。11:30 現場に向かい作業開始。いつものように後から後から出てくる空き缶やビンを回収します。

**この作業をしていて気づくことは、一匹のミミズも小さな虫も出てこないことです。膨大な量の空き缶が堆積し腐食して、土壌は鉄分が異様に多い強烈な酸性土になっています。おまけに虫たちの移動を遮るたくさんのビニールや発泡スチロール。**

ここはまったくの死の土なのです。

人間は本当に罪深いことをしたものだと思えます。この大量の空き缶・空き瓶・ビニール類を除去した後、ここに虫たちがもどり、クマザサが生い茂り、新しいブナの芽が芽吹く時がきっとやってくるはずだ…。遠い小さな希望ですが、それだけがつらい作業の励みになります。



13:00 作業終了。仮置き場に土嚢袋を搬出したところ約60袋ほどありました。180kgほどでしょうか。一般登山者のご厚意もあって、このうち約30袋を別所駐車場に降ろすことができました。

ちょうど本日は英彦山神宮の神幸祭・お下りの日で、土のう袋をかつぎ降ろしていると、参道を下る神輿の掛け声が聞こえてきて、力をいただきました。

翌12日には、英彦山在住の方々3名が、早朝から分別作業をして下さいました。



ご協力いただいたすべての皆様方に厚くお礼申し上げます。